

令和5年9月7日

保護者様

行方市立北浦小学校長 成田 悦子

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対応について（お知らせ）

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動への深いご理解、ご協力に感謝申し上げます。

さて、標記の件について、下記のとおりお知らせいたします。調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面となりますが、本調査の目的を踏まえ、成果と課題を検証し、改善に向けて対応策を講じていきます。

つきましては、お子様の健やかな成長のためにご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

1 本調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 本校の成果（○）と課題（●）

- 国語科の「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること」及び「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うこと」は、相当数の児童が身に付けていました。
- 算数科の「伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること」及び「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いること」は、相当数の児童が身に付けていました。
- 国語科の「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」及び「日常よく使われる敬語の理解」には課題が見られました。
- 算数科の「正三角形の意味や性質についての理解」及び「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること」には課題が見られました。

3 今後の対応

- (1) 課題となった設問については、本調査実施後に自校分析を行い指導しました。書き方の工夫や条件に基づいて記述する等の定着が図れるよう国語科の授業やその他の教科において、書く活動を取り入れていきます。
- (2) 算数科においては、習熟度別指導を充実させ、きめ細かな学習等のさらなる充実を図ります。
- (3) 4～6年生の基礎的・基本的な学力の定着を目指し、本校の課題に対応するため、全職員で指導に当たる「学びの時間を」設けます。週時程の変更については、9月1日付保護者配布文書「後期週時程の変更について（お知らせ）」をご確認ください。

4 保護者の皆様へお願い

児童質問紙の「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）」において、全国及び県と比較して利用時間が少ないことが分かりました。

本市では、MEXCBIT やeライブラリーを家庭学習で活用することができます。利用履歴及び成果等は、お子様のタブレットで確認することができます。今後、活用の促進を図っていきますので、保護者の皆様におかれましてもお声かけいただき、お子様の取組を褒めてあげてください。

【問合せ先】

行方市立北浦小学校

教務主任 浅野 貴宏

電話0291-37-6636